

私たちの地域の  
輝く人を  
ご紹介します

# みんなの ふれあいひろば

16歳から農業を始め、以来田んぼとともに生きてきました。始めたころは手作業の多い時代でしたが、機械化や省力化など、農業の進歩と常に向き合ってきました。「ひょう害に襲われ苦労したことや、収穫量が多く喜んだことなど、どれも忘れられない思い出です」春から秋は田んぼ中心の生活。朝5時に起きて田んぼへ出かけ、夕方6時には作業を終えるようにしています。「規則正しい生活と、農業が健康の秘けつでもあり、生きがい。夫婦ともに動ける限り農業を続けていきたいです」

## 農業が生きがい



〔松山・上北目〕  
長堀 源一 さん (82)

## 将来は ワニの研究をしたい



〔藤岡・小原田〕  
佐藤 陽春 くん (小1)

4歳から英会話を習っています。物語のキャラクターの台詞を覚えたり、先生との会話で英語を身に付けています。「今は新しい単語を覚えることを頑張っています」学校では国語が得意で、文章を読んだり、自分の考えをまとめて書くのが好きです。3人きょうだいで、家では2人の妹の面倒を見る優しいお兄ちゃんです。動物のワニが大好き。友達とワニの研究所を作ろうと話しています。「ワニのギザギザしたしっぽがカッコよくて大好きなので、将来はワニの研究をしたいです」

一年前に就農し、両親とイチゴやメロンなどを作っています。会社勤めと違い、時間の使い方が自由になったと思いますが、農業についてはわからないことが多く、先輩である両親に聞きながら勉強している毎日です。

野球が好きなので、野球チームに所属しています。「練習に参加して仲間と会うことでリフレッシュできています」

今年は農業を始めて二年目になります。「言われたことをするだけでなく、作業の意味を考えて行動できるようにになりたいです」

## 日々成長していきたい



〔浜中・浜中2区〕  
秋山 貴雄 さん (25)

## 読者からのおたより



●女性部稲川支部のソーセージ作り教室開催の様子、いきいきとした参加者の表情で楽しく・おいしくが伝わりました。(稲川・石垣さん)

●表紙のソーセージ作りを見て、自分もやってみたいし、皆さん頑張っているなあと感じていました。(八幡・信夫さん)

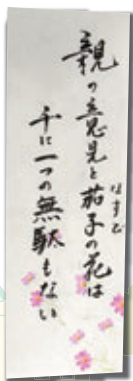
●ソーセージ作りでは、女性部の皆さんの勉強熱心な姿が印象的でした。試食させていただいたソーセージのおいしさは忘れられません。手作りの味は格別です。

●我が家の家族がインフルエンザにかかり、暗くなった気分を吹き飛ばすため畑から「啓翁桜」の小枝を持ってきてつぼみが膨らむのを見ています。この時期に咲くからこそ尚更かわいい花だと思えます。かかった本人も家族も辛いインフルエンザ。「啓翁桜」の花のかわいらしさは寒い時期に固まった心を溶かしてくれま

●やっと確定申告を終えました。次は、今年の作付計画を楽しみながら立てようと思っています。(本楯・佐藤さん)

●確定申告お疲れ様でした。申告が終わると一年の区切りがついた気持ちになります。楽しみながら計画、素敵です！

●広報誌「みどり」は親の手本のごとく無駄のないことに感じします。



(北平田・佐藤さん)

●手書きの短冊とうれしいお言葉、ありがとうございます。「みどり」は組合員の皆さまと一緒に作る広報誌。これからは皆さまからのご意見を反映した誌面作りをしていきます。